

# 豊橋市自治連合会だより

60  
2012  
創

第6号 発行部数 122,000部  
創立60周年記念特集号

発行 豊橋市自治連合会 平成25年3月29日発行  
事務局 市民協働推進課内 TEL 51-2484  
<http://www.toyohashijichiren.jp/>

## 自治連合会創立60周年を迎えて

豊橋市自治連合会創立60周年記念大会  
平成24年度 豊橋市自治連合会定期大会



## 地域とともに

創立60周年を迎えて  
自治連合会会長あいさつ



豊橋市自治連合会  
会長 高木 繁

豊橋市自治連合会が創立60周年を迎えるにあたりまして、関係各位の格別なご支援とご協力をいただきましたことに厚く御礼申し上げます。また、先人各位のこれまでの弛まないご努力と英知に対し、深く敬意を表します。

自治連合会は、その前身であります豊橋市総代会として昭和28年に創立されて以来、60年間にわたり常に地域住民とともに豊かなまちづくりに努めてまいりました。平成19年には、豊橋市自治連合会へと名称変更し「自ら考え、自ら治める」という強い信念のもと、更なる自治会活動の充実と活性化を図ってまいりました。おかげをもちまして、住民の健やかな生活と市政の発展に少なからず寄与することができたと存する次第であります。

しかしながら近年は、国際化・情報化等がすすみ、また、少子高齢化に一層の拍車がかかるなど、社会構造は大きく変化してきております。こうした社会情勢は、地域コミュニティの希薄化を生じさせ、活動の担い手不足や自治会加入率の低下を招くなど、地域コミュニティを取り巻く環境は大変厳しいものとなっております。

地域の絆の大切さがあらためて認識されている今日、自治会の果たすべき役割はますます大きいものとなっております。今後、効果的・効率的な自治会活動を推進するとともに、住民の皆様と手を取り合って、安全・安心なまちづくりを目指し、地域コミュニティの一層の充実を図ってまいります。

今後とも皆様方のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



副会長  
三井 新太郎



副会長  
鈴木 佳和



副会長  
村川 博美

# 創立60周年を迎えて 市長あいさつ



豊橋市長 佐原 光一  
豊橋市自治連  
合会が、「自ら  
考え、自ら治め  
る」という強い  
理念のもと、こ  
こに創立60周年

を迎えられましたことを心からお慶び申し  
上げます。

豊橋市自治連合会は、昭和28年にその前  
身である豊橋市総代会として設立されて以  
来、常に地域の中心的役割を担うことで、  
互いに助け合い、支え合いながら、地域の  
様々な課題の解決を図るなど、地域の発展  
に多大な力を発揮されてきました。平成19  
年4月に豊橋市自治連合会へと名称変更さ  
れた後も、多様化する地域社会の活性化に

積極的に取り組まれ、今日の発展に至った  
ことは、皆様方の一方ならぬご努力、ご尽  
力の賜と衷心より敬意を表します。

本市におきましても、「ともに生き、と  
もにつくる」の基本理念のもと、「輝き支  
え合う水と緑のまち・豊橋」の実現に向け  
スタートした第5次豊橋市総合計画のもと  
で、市民一人ひとりの力を活かし、協働・  
協創のまちづくりを進めています。

しかしながら、互いに支え合うことで  
きるまちをつくるためには、地域の力、地  
域の強い絆なくしては進められるものでは  
なく、これまで以上の自治連合会の皆様方  
のご支援、ご協力が必要です。今後とも、  
市民の皆様との連携をより一層深め、一体  
となってまちづくりに取り組んでまいりた  
いと考えています。

結びに、豊橋市自治連合会が、今後とも  
地域の要としてその力を十二分に発揮さ  
れ、さらなる飛躍をとげられますことをご  
祈念申し上げます。

## 創立60周年記念事業

### 自治連合会創立60周年記念大会

平成24年度定期大会

とき 平成24年6月22日(金)  
ところ 豊橋市公会堂

- ・60周年特別表彰  
(校区自治(総代)会長5人・町自治(総代)会  
長12人、団体/三菱レイヨン(株)豊橋事業所)
- ・60周年感謝状贈呈  
(個人/西 義雄氏、鈴木 馨氏、団体/株ほ  
の国百貨店、中日新聞社豊橋総局、豊橋農  
業協同組合)
- ・60周年経過報告ほか



## 自治連合会60年のあゆみ

年	月	内容
明治39年		町総代の名称が誕生
昭和15年		町内会結成(昭和16年…175町内会結成)
22年		町内会・隣組の解体(連絡員制度発足)
28年	5月	豊橋市総代会発足 25校区 255町体制 第1回校区総代会開催
	7月	理事会開催 規約制定
	11月	1回総会開催
29年	10月	豊橋まつり開催
30年		総代会組織 300町を超え、39校区、337町体制となる 市の人口が20万人を突破
32年		総代会組織 40校区、336町体制となる
33年	7月	総代会組織 41校区、337町体制となる 管外都市視察始まる(現在)
34年		豊橋まつりクイーンが初登場(現在)
35年		パレード始まる(現在)
36年		交通安全都市推進協議会発足
37年		管内視察(市内施設見学会)始まる(現在)
40年		総代会組織 350町を超え351町体制となる(41校区)
41年		総代会加入世帯が50,000世帯を超え、50,867世帯となる
46年		交通事故撲滅市民総決起大会開催
49年		地区市民館開館(現在23館)
52年		総代会組織 42校区、397町体制となる
52年		自主防災会結成(昭和61年 市内全域に結成)
53年		総代会組織 43校区、398町体制となる
54年		総代会組織 44校区、399町体制となる 市の人口が30万人を突破
55年		校区市民館開館(現在49館)
56年		総代会組織 400町を超え、45校区、411町体制となる
57年		校区青少年健全育成会連絡協議会発足
58年	2月	総代会組織 46校区、416町体制となる 豊橋市総代会創立30周年記念大会
59年		総代会組織 47校区、420町体制となる
60年		総代会組織 48校区、422町体制となる
63年		総代会組織 49校区、431町体制となる
平成2年		総代会組織 50校区、429町体制となる



60周年特別表彰(校区自治(総代)会長)



60周年特別表彰(町自治(総代)会長)



60周年感謝状(個人・団体)

記念講演(トークショー)

とき 平成24年6月22日(金)  
※記念大会終了後  
ところ 豊橋市公会堂

講師 杉田 成道氏  
演出家・映画監督、  
豊橋ふるさと大使  
テーマ 「生涯現役！  
〜人生を豊かに〜」



豊橋まつりクイーン衣装展

とき 平成24年10月6日(土)〜21日(日)  
ところ ことども未来館「ここにこ」



総代会創立50周年記念植樹地  
「市民の森」訪問

とき 平成24年11月8日(木)  
ところ 北設楽郡設楽町地内(大野山)



平成5年	7年	10年	11年	12年	14年	15年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年
2月		1月	4月	9月	10月	2月	1月	3月	2月	2月	10月	1月	4月	1月
市の人口が35万人を突破 豊橋市総代会創立40周年記念大会 「阪神・淡路大震災」義援金を被災地へ 総代会組織 51校区、445町体制となる 機関紙「新聞豊橋総代会」創刊 市長と総代との懇談会を開催する(現在) 豊橋市が中核市移行(全国22番目) 総代会加入世帯が100,000世帯を超え、100,803世帯となる 機関紙「新聞豊橋総代会」を「豊橋総代会だより」へ名称変更 豊橋市総代会創立50周年記念事業・記念植樹(豊橋総合スポーツ公園) 豊橋市総代会創立50周年記念事業・水源植樹(設楽町「豊橋市民の森」) 豊橋市総代会創立50周年記念大会 豊橋市総代会規約を全面改正 町内会活動の手引きを発行 市制施行100周年記念事業・地域イベント実施(51校区 83イベント) 市制施行100周年記念特別感謝状 市制施行100周年記念事業・校区のあゆみ(校区史)発刊 市制施行100周年記念植樹(豊橋公園) 豊橋市総代会から豊橋市自治連合会へ名称変更 校区自治会運営に関するアンケートを実施 豊橋市住民自治関係団体ネットワーク会議発足 機関紙「豊橋総代会だより」を「豊橋市自治連合会だより」へ名称変更 定期大会において「提言」を示す(現在) 町自治会運営に関するアンケートを実施 ホームページ開設 豊橋まつりクイーン誕生50周年 我が校区(町)自治会の合理化策 事務局を広報広聴課から市民協働推進課へ移管 校区情報交換シート「体育振興」(成人式)についてアンケートによる情報交換を実施 理事研修会を開催 「東日本大震災」義援金63,751,507円を被災地へ 校区情報交換シート「校区自主防災会」についてアンケートによる情報交換を実施 校区情報交換シート「子ども育成会」についてアンケートによる情報交換を実施 まちづくり講習会を開催 豊橋市総代会・自治連合会創立60周年 豊橋市自治連合会創立60周年記念大会 豊橋市自治連合会創立60周年記念事業・豊橋まつりクイーン衣装展開催 豊橋市自治連合会創立60周年記念事業・「市民の森」訪問 校区情報交換シート「校区市民館」についてアンケートによる情報交換を実施														

# 第53代 豊橋まつりクイーン

「ええじゃないか」のもと

「豊橋まつり」が今年度も盛大に開催されました。

10月20日(土)・21日(日)の2日間にわたって開催された「第58回豊橋まつり」。両日とも好天に恵まれ、各校区自治会から推薦されたクイーンが各会場でダンスを披露し、まつりに訪れた市民の目を楽しませました。



衣装提供／三菱レイヨン(株)豊橋事業所  
ダンス指導／カオルズスキ・ジャズダンスカンパニー主宰 鈴木 馨先生  
総おどり指導／香川流舞踊会 香川ひで也先生

## 視察記

### 理事管外視察

千葉県船橋市／平成24年5月16日(水)・17日(木)  
船橋市は、市制施行が昭和12年と新しく、首都圏のベッドタウンとして急速に発展してきました。本市と比較すると、面積は1/3、人口は1.6倍、町自治会は1.9倍と典型的な都市型の都市であります。

船橋市自治会連絡協議会の活動内容は、概ね豊橋市と似通っていると感じましたが、肥大化した自治会運営を機能的に効率よく推進するために、かなりの努力・工夫をされており、本市の自治会のあり方を考える一助となりました。

例えば、①市内を24地区に分け、地区連絡協議会を開催する。(本市の理事会に相当) ②24地区の代表59名が常任理事となり、広報・環境衛生・防災・青少年教育・福祉・防犯の6部会に所属し、テーマに合わせて活動する。③自治会加入率76%(本市71%)。加入促進対策を自治会と連携して行政側が積極的に取り組んでいる。④一昨年の大震災の影響を体験した船橋市であるが、自主防災の組織率が56%と低いため、組織率向上に向け、行政・自治会で積極的に取り組んでいる等、地域力強化に向けた取り組みが見受けられました。

2日目は、液状化した「ふなばし海浜公園」を視察しました。この公園は埋立地にできた公園であり、被災から2年が経過していますが、未だその傷跡が随所に見られ、現在も復旧の目途が立っていません。本市も沿岸部や埋立地を抱えており、同規模の震災に襲われた時には、この惨状が待ち受けていると考えると、つくづく防災対策の重要性を感じました。

災害を体験して学んだ船橋市自治会のお話は、大変心に残り、今後の参考にしなければと思えました。

常任理事管外視察 三重県伊賀市・京都府亀岡市／平成24年11月13日(火)・14日(水)

伊賀市「柘植地域まちづくり協議会」  
亀岡市「亀岡市セーフコミュニティ推進事業」

### 他都市からの視察受入れ

群馬県高崎市市長会／平成24年10月3日(水)  
群馬県邑楽郡明和町市長会／平成25年2月13日(水)

## 平成24年度 豊橋市自治連合会 事業報告

### 重点推進事項

- 一 明日の豊かなまちづくり
  - ◇市民館を拠点に地域のコミュニティ活動の実施など
  - 二 安全で明るい市民生活を築くまちづくり
    - ◇街頭立ち番の実施による交通安全市民運動や防犯活動の推進など
  - 三 青少年が健康で明るく育つまちづくり
    - ◇パトロールの実施、非行防止活動など
  - 四 地震等災害から市民を守るまちづくり
    - ◇危機管理体制の強化
    - ◇自主防災会の充実と防災意識の高揚など

### 一般推進事項

- 一 受託業務の実施
    - ◇「広報とよはし」配付など市の業務について業務委託契約を締結
  - 二 豊橋まつりへの参加
    - ◇自治会よりクイーンを選出し、イベントなどへ参加
  - 三 共同募金、歳末たすけあい運動などへの協力
  - 四 地域で献血運動への協力など
- 特別推進事項
- 一 自治会活動の充実と活性化の促進
  - 二 市民協働によるまちづくりの推進
  - 三 創立60周年記念事業計画の立案・実施

## 編集後記

今号は60周年記念事業を中心に掲載しました。多岐にわたる自治会活動ですが、今後も身近な住民自治組織として、皆様とともに歩んでまいります。(編集委員一同)